

2022 年秋学期/ボイシー州立大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

一つの授業は約 90～120 分で、10 人程度でクラスは行われた。Reading & Writing と Grammar, Communication の三つの授業があった。

授業は基本的にテキストに沿って進めていましたが、先生によって進める速さや内容は全く違いました。文法は中学生で習うような内容を、コミュニケーションは会話中心でテキストはあまり使わず、リーディングライティングはその言葉通りエッセイを書いたり、長文を読んだりしていました。

コミュニケーションとリーディング、ライティングそしてグラマーという3つのクラスがあり、それぞれ入時のテストでクラスを3から4段階でわけて行っていました。

教科書やシラバス通りに進められていた。

教師によって授業形態は異なるが、ペアワークやグループワークが多かった。

先生の授業がとても自分に合っていた気がしました。わからないところは丁寧にゆっくり教えてくれたり、英語を活かしたゲームなどをたくさんしたり、日本では味わえないとても楽しい授業でした。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスによりませんが人数は大体 10 以下だと思います。日本人が多いクラスもあれば、日本人一人だけというクラスもありました。留学生は日本人、韓国人、コロンビアやウクライナからも生徒が来ていました。

20人、日本人20%、韓国、南米、西アジア、ウクライナなど

留学生全体では約 30 人。韓国からの留学生が最も多く、次に日本人学生が多かった。そのほかには、メキシコ、ウクライナ、コロンビアからの学生がいた。

クラスによって人数が違った。韓国、コロンビア、メキシコ、ウズベキスタン、アフガニスタン、シリア、ウクライナ

日本人学生とほかの外国人学生の割合が4:6で、韓国から来た留学生がかなり多かったです。

クラスはやく10～15人程度で、韓国人の留学生が多かったです。そのほかにもコロンビアやコスタリカ、ウクライナの人たちがいました。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

発言力や積極性が大事でした。今まで自分たちが受けてきた授業とは全く違うと感じるほどみんながアクティブに発言していて、少しボーっとしているだけで話がとても進んでいるということは普通にありました。真剣にかつ楽しんで授業に取り組めたと思います。

とても賑やかでした。

みんな積極的に発言をしていた。

生徒一人ひとりが積極的に発言していた。

クラスの雰囲気はとても明るく、先生とも友達のように会話ができました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

環境など世界的な問題にかかわる授業が多かったです。日本語でもよくわからないようなことを英語で学ぶというのがとても新鮮で楽しかったので印象に残っています。特に世界の言語について学んだときはいくつかの言語のあいさつなどを同時に勉強できてとても楽しかったです。

世界には移民がたくさんいて、アメリカにそういった人がたくさんいることに驚いた。

SDGs、環境に関するトピックや Ted Talk など

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

宿題は当日に終わらせるよう心がけていました。わからないところは次の授業で質問したり、質問することを恥ずかしがらないようにしていました。

積極的に自分から発言するようにした。

自分の意見を他のグループの学生に、積極的に伝えることを意識した。

授業中の発言は評価基準に入るので、授業中はなるべく発言や質問などをした

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人(人)	
2人(1人)	日本人2人、アメリカ人2人
3人(2人)	アメリカ人
4人(3人)	現地の学生が二人、韓国からの学生が一人

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩(6人)	0~15分(6人)	自炊(5人)
		大学内のカフェテリア(1人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
クローゼット、シーツと枕、テーブル、椅子	毛布、ハンガー
ベッドと机はあった。枕や布団などは買う必要がある。	ヘアドライヤー。シャンプーなどは現地で買う。
ベット、ベットシーツ、枕、タンス、机、いす	ハンガー、布団、シャンプーリンス、掃除用具、キッチン用品、食器
ベッド、机、椅子、タンス、クローゼット	キッチン用具
勉強机と椅子、ベッドやクローゼットなど	一週間分の服、普段使用している薬や洗剤、化粧品など。変圧器は必須
自分の部屋にはベッドとクローゼットと机と椅子が置いてありました。	ブランケットを日本から持って行ってました。部屋の中がとても寒かったの で役に立ちました。留学前は食事が付いていると聞いていて、自炊の心配はないと思っていたのですが、食事制度が付いていないと聞いて、食料などはすべて自分で賄わなければなりませんでした。

寮生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

壁があまりにも薄く、生活音は丸聞こえです。当たり前ですが、浴槽に入ることは期待しない方がいいのと、トイレがすぐに壊れます。

ルームメイトが友達を泊めることが多々あった。

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

文化が違う人や、全くの他人と4か月間過ごすことになるので、ストレスがかなりたまると思います。そのため、自分の思ったことはちゃんと言葉にして伝えることが重要です。

ルームメイトと仲良くすること。

積極的に話しかけることが大切！

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい(6人)	日本からSIMカードを持参(4人)	ワイヤレスで可能(4人)	はい(0人)
いいえ(0人)	日本の携帯をそのまま持参(1人)	LANケーブルで可能(2人)	いいえ(6人)
	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参(1人)		

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
セミスター中は時期を問わずたくさんイベントがあるので、積極的に参加するべきだと思います。クラブやサークルは期間が短すぎて入りにくいかもしれませんが、アルバイトは比較的簡単なものが多いので、参加してみるといいと思います。	学校からすぐの場所にある古着屋さんは安くて質もよく、みんな通っていました。近くにあるハンバーガー屋さんもとてもおいしかったです。
大学のイベントに積極的に参加すべき。日本人と連まらずに、外国人と共に行動するべきだと思う。	図書館
友達と遊びに行く、パーティに行く	カフェテリアで話す
難民の人達に英語を教えるボランティアをした。	ショッピングモール
出来る限りいろんなイベントに参加し、友達を作ると同時に言語力の向上に励む	日本食レストラン

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

単語の勉強と、海外で使えるアプリを入れました。実際留学中も自分の語彙力の低さを痛感しました。アメリカではSNAPCHATが主流なので入れておいた方がいいと思います。

留学の書類などを早めに準備するべき

日本のことについて詳しく調べておく

留学前にしておけばよかったと思う準備

単語の勉強をもっと早くから始めておけばよかったなと思いました。

現地のことについてもう少し知るべきだった。

アメリカの政治や文化などについて調べる

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本食や日本のお菓子。クラスの人々と分けられて、みんな喜んでた。

重さを測る器具、体温計、薬など

タオル、洗濯ネット

変圧器はとても役に立った。抹茶系のお菓子は喜ばれやすい

日本から持っていく必要のなかったもの

あまりたくさん服を持っていく必要はない

日本食

日本から持参すればよかったと思ったもの

日本語の教科書、机が暗いのでランプ、毛布、食器類、調味料

襟付きの服

ハンガー、毛布、カトラリー

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカードは念のために二枚、現金は300ドルほど持参しました。 現金は空港で時間がある時に専用の場所に変えました	クレジットカード2枚、各上限10万円、現金30000円
クレジットカード、プリペイドカード、現金	現金3万
クレジットカード、現金	現金 10 万円
クレジットカード、現金	クレジットカード上限 100 万、現金 10 万
クレジットカードと現金	現金 10 万円、クレジットカードは上限なしを利用した(寮費用)

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
住居費や空港からの送迎費などを含めて 5000 ドル近く支払いました。	テキストは配布され、通学は徒歩だったので費用は掛かっていません
住居費50万、食費20万	5千円、通学費はかからない
住居費 40 万、食費 4 万(30 食のミールプラン)	5 万
住居費 60 万円、食費はおよそ 5~7, 8 万円	どちらも無償

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

1週間、10万、ロサンゼルス、アプリ

LAに旅行。一週間、10万~15万程度

バスで行けるところまで行き、徒歩で目的地に向かう。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくぐらいかかりましたか。

我慢すれば比較的抑えられると思いますが、50万円くらいは使ったと思います。

服やお土産など約5万円

15 万

15～20 万円

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

元々コミュニケーション能力は高い方だったので、友達を作るのには困らなかった。語学力は今まで少しだらけてしまっていた部分がでしまった印象です。自分の語彙力のなさを痛感しました。ですが、ネイティブの友達に英語を褒められることが何度かあり、とてもうれしかったです。

毎日英語を話すことで会話能力が上がった

日常会話をこなせる。誰とも会話できる

語学力・コミュニケーション能力が大きく上がったが、まだまだ現地学生との会話は完璧ではない。

留学前の目標とその達成度

留学前は漠然と英語力を伸ばしたいという目標でしたが、少しは達成できたのかなと思います。4 か月という短い期間の中でしたが、4 か月前より、英語力は上がっていると感じますし、自分に自信がついたように思います。

現地の人となんの苦労もなく話すこと。リスニングについてはなんの問題もない。ただ、話す能力はもう少し向上の余地がある。

もう少し英語がすらすら話せるようになればよかった。

目標は、現地の人とスムーズな会話ができるようになることだが、まだまだ時間が必要だと感じるので、達成度は 40～50%前後だと感じる。

留学を通しての成長ポイント

英語能力はもちろん、物事の考え方が大きく変わったように感じます。日本に住んでいると人の目を気にしがちですが、周りの意見を気にしない、自分らしく生きるという考え方が身についたと思います。

一人でなんでも行動する能力がついた。

物おじせずに自分の意見を言えるようになった。

積極的に行動する力、発言する力が身についたと思う。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前からモチベーションは高かったが、留学中にもっとモチベーションが上がると思う。強制的に英語だけの世界に身を置くのが初めてだったのでそれがいい刺激になったのかなと思う。現在は別の留学に参加することを目標に学習を続けている。

モチベーションは最初から最後まで高かった。

常に前向きだった。

留学先の不安や勉強に対する不安が初期にあったが、いざ留学してみると、思っていた以上に充実しており、言語にたくさん触れることができ、それと同時に、さまざまなイベントなどに対するチャレンジ精神が芽生えた。しかし、留学後は一気に言語を使うことがなくなったので、違和感はかなりあるが、言語に多く触れる環境に自分の身を置きたい感じた。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

ネイティブの学生と会話をするときはいつも100%だったと思う。リスニングにもスピーキングにもとても頭を使ったし、聞き返すこともあったけど、みんな優しく対応してくれた。

英語を話さなければならない状況をあえて作る。

授業でのプレゼンテーション

プレゼンテーションや PSA 作り(動画を通して、自分の伝えたいことを述べる)

留学先大学の良かった点

たくさんイベントがあり、友達が作りやすい環境だった。バスが無料なのも留学生としてはありがたかった。

優しく接していただいた。

平和に過ごせた

安全で、市民や学生はフレンドリー。教師も勉学に対して熱心で授業が楽しい